

令和3年度 第1回通常総会 議事録

1. 日 時 令和3年6月1日(火) 13時00分～15時35分
2. 場 所 WEB会議(ZOOMシステム) アルカディア市ヶ谷
3. 会員総数 113名
4. 出席会員 113名 出席者70名(会場出席6名 WEB出席64名)
出席者委任29名 議長委任14名
5. 出席した理事
会 長 井上 圭三(議長兼議事録作成者)
副 会 長 後藤 直正 楠 文代
常務理事 中村 明弘 浜岡 純治
加留部 善晴
理 事 亀井 美和子 元木 和幸
田中 芳夫 堅田 利明
佐川 賢一 越前 宏俊
津田 裕子 宮田 興子
篠塚 和正
6. 出席した監事 富田 基郎 市川 厚
7. 出席した参与 乾 賢一 本間 浩

8. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により井上会長が議長に就任し、本日の出席会員が113名にて定款に定める定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から中村常務理事、亀井理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録(令和2年度第2回通常総会:令和2年11月24日開催)について、これを全会一致で承認した。

(2) 役員(理事)の補充人事について

井上会長から、令和3年3月31日付で辞任した灘井雅行常務理事(名城大学薬学部長退任)の後任について、令和2年度理事選挙の結果に基づき、資料4のとおり後任理事の提案があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

また、今回、常任理事の後任は選任しないことも併せて了承された。

後任理事: 近畿大学薬学部長 岩城正宏

(3) 令和2年度事業報告(案)について

小池事務局長から、資料5「令和2年度事業報告(案)」に基づき説明があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

(4) 令和2年度決算(案)及び監査報告について

小池事務局長から、資料6に基づき令和2年度収支計算書(案)等関係書類の説明及び富田監事から監事監査結果の報告があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

(5) 日本私立薬科大学協会への入会申し込みについて

井上会長から、資料7に基づき、学校法人 湘南ふれあい学園から提出された「湘南医療大学薬学部」の入会申請の説明があり、協議の結果、承認された。

(6) 賛助会員の入会申し込みについて

井上会長から、資料8に基づき、(株)EPARKグループ「(株)くすりの窓口」から提出された入会申請の説明があり、協議の結果、承認された。

(7) 学生入学定員及び入学者数について

井上会長から、資料9に基づき令和3年度私立薬科大学(薬学部)入学定員及び入学者数が報告され、本協会の申し合せ(平成27年6月2日総会決定)に照らし、令和3年度においても入学定員の1.1倍以上の入学者を受け入れた大学(4大学)に対し、従来どおり、入学定員超過の理由及び今後の対応策を文書で提出することが了承された。

(8) 薬科大学(薬学部)の新設に関する取り扱いについて

井上会長から、資料10に基づき「第8回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」(厚生労働省)における薬剤師の需給推計(案):抜粋資料によれば、薬剤師が2045年には少なくとも2万4千人過剰となるとの推計結果がまとめられたこと等の報告があった。

次いで、薬剤師国家試験の結果、入学定員の充足状況、大学間の教育の質の格差等種々の課題がある中で、薬学部の入学定員を含めた薬剤師養成のあり方について、本協会として今後どの様に対応すべきか等について発言があった。

(9) 令和2年度私立薬科大学(薬学部)実務実習実態調査の調査結果について

小池事務局長から、資料11に基づき私立57大学を対象に実施した実態調

査（病院、薬局における学生の受け入れ割合、教員の施設訪問回数、実習経費の金額別、学生数等）の報告があった。

(10) 文部科学省委託費「6年制薬学教育制度調査検討委員会」の検討結果について

井上会長から、本委員会におけるこれまでの検討状況について、資料12に基づき以下の報告があった。

- ・「6年制薬学教育制度調査検討委員会」全体会議委員名簿
- ・薬学教育モデル・コアカリキュラム各分野の改訂スケジュール
- ・コアカリ大項目検討資料
- ・次期モデル・コアカリキュラム改訂に向けた医学・歯学・薬学共通項目（案）（文部科学省資料）
- ・学修領域（大項目）検討小委員会（5つの委員会）委員名簿

次いで、モデル・コアカリキュラムにおける基本的な資質・能力及び学修領域等について、さらに検討を進め、10月頃を目途に文部科学省とも協議のうえ、試案を示せるものと考えている旨の説明があった。

(11) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、資料13に基づき以下について報告があった。

- ・第41回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について
- ・第62回理事会、第63回理事会について

(12) 第6回「日本薬学教育学会大会」の後援名義申請について

井上会長から、資料14に基づき、「第6回日本薬学教育学会」大会長（名城大学 灘井雅行薬学部教授）から、本年8月21日（土）・22日（日）に名城大学で開催する同学会大会について、本協会に対し後援名義の申請があった旨の説明があり、これを承認した。

(13) その他

奥 薬学共用試験センター理事長から、6月25日（金）に開催される全国薬科大学長・薬学部長会議第1回総会に提案予定の「2021（令和3）年度薬学共用試験OSCE実施に関する課題数等」について説明があった。

9. 薬学教育の諸課題について

(1) 文部科学省高等教育局医学教育課 成相薬学教育専門官から以下のことについて説明があった。

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨床実習等の取扱いについて

- 薬学実務実習連絡会議の延長について
- 令和2年度薬学実務実習中間調査報告について
- 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について
 - ・改訂スケジュール
 - 2019年度（令和元年度）～2021年度（令和3年度）
 - 調査研究委託（委託先：日本私立薬科大学協会）
 - 2021年度（令和3年度） コアカリ改訂検討開始（文部科学省）
 - 2022年度（令和4年度） コアカリ改訂完了（文部科学省）
 - 2024年度（令和6年度） 学生受け入れ（薬学・医学・歯学同時）
 - ・チーム医療の推進や、医療分野の進歩、社会情勢の変化を踏まえ、医療人として共有すべき価値観を共通して盛り込む等、薬学部、医学部及び歯学部で大項目や基本的な資質等の内容について整合性をとったモデル・コアカリキュラムを同時に改訂予定。
- 薬学部6年制学科における修学状況の情報公開について
- 薬学教育における質の改善について
- 令和3年度薬学教育指導者のためワークショップ（案）について
- 各種要請等について
 - ・ 薬害防止に関する教育の充実について
 - ・ B型肝炎に関する教育の充実等について
 - ・ 死因究明等の推進について
 - ・ 健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画の推進について
 - ・ アレルギー疾患に関する教育の充実について
 - ・ アルコール依存症に関する教育について
 - ・ 「慢性の痛み」に関する教育の充実について
 - ・ 大学病院における患者情報の漏洩について
 - ・ 大学病院における個人情報の適正な管理について
- 令和3年度予算について

(2) 厚生労働省医薬・生活衛生局 安川薬事企画官から以下のことについて説明があった。

- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律（令和元年法律第63号）の概要について
- オンライン服薬指導について
- 電子処方箋について
- 薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会について
- 薬剤師国家試験の出願者の受験について
 - 「卒業確定者の報告」の報告期限を、これまでの「試験実施前」から「試験実施後」に変更する。これに伴い、出願者は卒業確定者でなくとも受験は可能となる。（ただし、卒業できていないことから試験は採点せず不合格となり、公表資料の受験者数にも含めない。）

○ 令和3年度予算の概要について

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、15時35分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）がこれに署名捺印する。

令和3年6月17日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長兼議事録作成者 井 上 圭 三
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 中 村 明 弘
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 亀 井 美 和 子
(押印済)